

氏名	戸谷 陽子 TOTANI Yoko
所属	人間文化創成科学研究科文化科学系
職名	准教授
学位	修士（文学） MFA（Theatre Criticism）
専門分野	英米文学・文化表象
URL	
E-mail	totani.yoko@ocha.ac.jp

## 研究者キーワード / Keywords

舞台芸術論  
パフォーマンス研究  
アメリカ演劇  
文化政策  
比較演劇論

Performing Arts Theory  
Performance Studies  
American Theatre  
Cultural Politics  
Comparative Drama

## 主要業績

「第7章 ジェンダー」『パフォーマンス研究のキーワード—批判的カルチュラル・スタディーズ入門』

『トピック：アイデンティティ、ジェンダー、フェミニズム』『パフォーマンス研究のキーワード—批判的カルチュラル・スタディーズ入門』

## 研究内容 / Research Pursuits

2007年度より4年間、科研費助成により「アメリカ演劇の理論と実践におけるリベラリズムと民主主義の問題：冷戦以降の再検討」と題する研究を行う。2010年度も引き続き冷戦期の文化政策についての文献を中心に資料を収集・通読したほか、19世紀以降のアメリカにおいて性の政治学や権力の力学が資本主義と結びつけられて構成・布置される過程およびリベラリズムという概念の形成過程を確認しつつ、現在のグローバル資本主義下におけるリベラリズムの諸言説を演劇という枠組みにおいて検証する作業を継続した。また、平成21年度に中断していた冷戦終結以降、2001年同時多発テロ、イラク戦争以降の演劇およびパフォーマンスを検証する作業を再開し、基礎研究の一環としてスピヴァク近著の共同翻訳も開始した。また、資料を収集のため短期間渡米し、その際、研究交流のあるニューヨーク大学のマーティン教授と面談し、アドバイスを受けることもできた。この過程で、ネオリベラリズムと冷戦後文化の諸関係を捉えなおすという問題意識を得て、演劇実践および文化政策の両面からこれを検討する作業に着手。演劇実践研究の最終年度を意識し、これまでの成果を言語化する作業を進め、ジェンダーパフォーマンスに関する考察をまとめた。

Topics of research conducted and titles of conference papers are:

1. (Grants-in-Aid for Scientific Research, Japan Society for the Promotion of Science): Theory and Practice of Liberalism and Democracy in American Theatre: Reconsidering the Cold War Cultural Politics
2. Two chapters for a volume on Performance Studies

## ■ 教育内容 / Educational Pursuits

1. 学部教育：全学部対象コア科目英語、基礎ゼミ、英語圏言語文化コース学生対象の専門科目（英語圏テキスト講読、英米文学演習）を担当、パワーポイントなどを使用して視聴覚教材を作成し、立体的な授業を心がけている。このほか卒論指導として3名の学部学生の個人指導を担当。
2. 大学院教育：アメリカ演劇関連の科目（米文学演習）を担当、また修士論文の個人指導および博士後期課程学生の個人指導。
3. その他、コア科目英語担当として、全学部の英語科目のオリエンテーション、クラス編成、とくに履修相談・指導に膨大な時間と労力をかけている。
4. 国際本部員として、留学生受け入れ、派遣の選考および留学に関する相談を受けている。

Conducted lectures and classes in the 10-11 academic year include:

1. Intermediate English for freshmen and sophomores.
2. World Literature for freshmen and sophomores.
3. English and American Literature Seminars for undergraduate English major students.
4. Seminars for graduate students to study American theatre and its theory.

In addition to teaching, the following contributions were made:

1. Supervising B.A. and M.A. theses.
2. Consulting and advising undergraduate students taking Core Curriculum English classes.
3. Coordinating Core Curriculum English Program and carrying out orientation programs for freshmen as well as senior students.
4. Consulting and advising foreign students as well as students preparing to study abroad.

## ■ 研究計画

2007年度より4年間、科研費助成により「アメリカ演劇の理論と実践におけるリベラリズムと民主主義の問題：冷戦以降の再検討」と題する研究を行い、2010年度は戦後アメリカの文化政策とセクシュアリティの配備という観点から調査・研究を進めてきたが、今後はその延長線上に位置する諸問題を引き続き検討し、グローバル化の進む表象文化空間における表象のポリティクスを舞台芸術を対象に行っていく予定。共同研究の可能性としては、「文化芸術助成財団・研究機関等と舞台芸術と文化政策の実践的共同研究」「各国演劇研究者等と舞台芸術の国際コラボレーションに関する実践的共同研究」といった、実践および文化政策等社会的に還元しうる研究を目指したい。

## ■ メッセージ

今日IT化、グローバル化の時代にあって、知や情報を手にすることは容易に可能になりました。したがって、大学でそれ自体を学ぶことは、以前と比べるとさして重要な価値ではなくなったといえるかもしれません。みなさんには、インターネットで検索して得られる知や情報ではなく、知の集積する大学という空間で、それをいかに有効に活用するか、そしていかに発信するか、実際の技術的な訓練はもちろん、そのための深い思考力と想像力を鍛錬してほしいと願っています。グローバル化の時代、さまざまな立場や価値観が拮抗する社会にあって、わたくしたちが知識や情報のみでは解決できない複雑な問題に直面する時に、この思考力と想像力が、そしてそれを備えたみなさんのような人材が必要とされていると思うからです。